放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表 : 令和6年2月29日

事業所名 児童デイサービス・アニマート鹿屋あさひばる

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関 係で適切である	4	0		死角が少なく目が届きやすく活動に必要な広さも十分に 確保されています。
- 体制整備	2	職員の配置数は適切である	4	0		利用人数に合わせて適宜配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている	3	1		配慮に努めておりますが十分でないところもある為、必要に 応じて職員が利用者様の補助に入り対応をしております。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	0	朝礼・昼礼などにおいて 目標や計画などを共有 し終礼で反省や改善案 の検討を行っています。	今後も継続していきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0	年に一度実施しています。	活動内容についてなど細かいアンケート調査も実施し今後も業務改善に努めていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	4	0		ホームページに公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	4	0		事業所公開しています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	4	0		定期的に実施していますが今後事例検討により具体的な 研修も実施していきたいと思います
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	4	0	利用者様が楽しみなが ら学ぶ機会を作ることが 出来るよう検討し、活動 内容を計画しています。	様々な観点から検討し作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 している	4	0		自社共通のアセスメントツールを使用しており併せて事業所 独自のアセスメントツールを用いてより細かな状況把握に 努めています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0		職員で検討し実施しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	4	0		活動内容が固定化しないように全職員で検討し実施しています。
適切	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	4	0		時間を有効に使い長時間・短時間共に出来る活動設定を 行っています。
な支援	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	4	0	子供一人一人の特性や 課題点に沿って活動内 容を検討しながら作成を 行っています。	集団活動と個別活動の組み合わせも工夫しながら様々な 観点から検討し作成しています。
の提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	4	0		朝礼及び昼礼において内容確認や打ち合わせなど確認事項の共有を図っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	4	0		職員間で1日の流れを振り返る時間を設け利用者の様子を 共有すると共に送りの際の保護者からの伝達事項の共有を 行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0		記録も取れており対策について話し合うことが出来ています。 今後より一層共有に努めて参ります。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	0		定期的なモニタリングにおいて評価内容と現状に沿って 見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っている	4	0		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	3	1	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	0	積極的にアプローチを行い情報共有に努めて参ります。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	4	現時点で医療的ケアが必要な利用者様がおられない為、 連携体制は取れていない。今後必要になれば検討して 参ります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	2	2	主に保護者様からの聞き取りや書面での情報共有になります が相互理解に努めて参ります。また、保護者様の了解を得る ことが出来れば積極的に情報共有を行って参ります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行 する場合、それまでの支援内容等の情報を 提供する等している	4	0	必要に応じて対応をしています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研 修を受けている	2	2	助言を受けたり研修に参加する機会を多く確保できるように 努めて参ります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	2	活動機会を増やしていけるよう検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	0	4	積極的に参加できるよう検討していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	4	0	連絡帳に記載したり送迎の際に伝達を行ったり、電話で話す など随時共有出来るよう努めています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている	1	3	個別での相談支援は行ってきたがペアレントトレーニングは 出来ていない。今後の課題として取り入れていきます
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	契約時に運営規定と利用者負担額などについて詳しく説明 させていただいております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っ ている	4	0	保護者の方のご相談を受けることによりご家族の 負担軽減に努め、出来る限りの助言支援を行いながら 共に考えていきたいと思っております。
保護	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	0	4	保護者会の開催を企画し、保護者様同士の連携を支援致します。
者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	4	0	契約時に苦情受付の説明を行っています。実際に苦情が 出た場合には迅速に対応できるよう努めて参ります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	4	0	毎月通信を発行しております。 行事前や長期休暇前にはお知らせを発行して情報の周知に 努めています。
	35	個人情報に十分注意している	4	0	個人情報が記載された書物は鍵付きの書庫に保管しており 細心の注意を払っています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	4	0	利用者様や保護者の方の状態に応じて視覚的情報などを 活用して必要な配慮が行き届くよう努めていきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	0	4	今後検討していきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	0		マニュアル作成を行い、定期的な研修を行っております。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出その他必要な訓練を行っている	4	0	定期的に地震・水害・災害・不審者など想定し避難訓練を行っています。	今後も継続していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0		研修を定期的に行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	1		その様な対象者様がいませんが、必要に応じて利用者様・保護者様に説明し、同意を得た上で個別支援計画に記載致します。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	0		現在対象者様がいませんが、契約時に必ず確認し適切な 対応が取れるよう配慮致します。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共 有している	4	0		ヒヤリハット報告書を作成し職員間で共有しております。